



エンゼルケアの基本

緩和ケア認定看護師
奥間 かおり

エンゼルケアとは…

エンゼルメイクを含む すべての死後ケア

* エンゼルケアは、患者の逝去時から
ナース（あるいは異なる立場でケアに携わる人）
の手から離れるまでに実施するケアのこと

小林光恵著 「説明できるエンゼルケア 40の声かけ説明例」 より

エンゼルケアの目的

- * 家族のグリーフケア（スタッフもグリーフの対象）
- * 患者の苦勞を勞い、最期の別れの時に
してあげたいことをしてあげられる大切な時間
- * 患者の体に触れることで患者の死を実感する
- * その人らしく整えられる（患者の尊嚴を守る）
- * 遺体の変化を予防する

死体現象を考慮した対応を行う

→悲嘆のプロセスを正常に辿れることを支援する

家族の持つニーズ



- ①患者の状態を知りたい
- ②患者のそばにいたい
- ③患者の役に立ちたい
- ④感情を表出したい
- ⑤医療スタッフから受容と支持と慰めを得たい
- ⑥患者の安楽を保証してほしい
- ⑦家族メンバーより慰めと支持を得たい
- ⑧死期が近づいたことを知りたい

(Hampe SO, 1977)

- ⑨患者と対話の時間を持ちたい
- ⑩自分自身を保ちたい

(鈴木 志津恵)

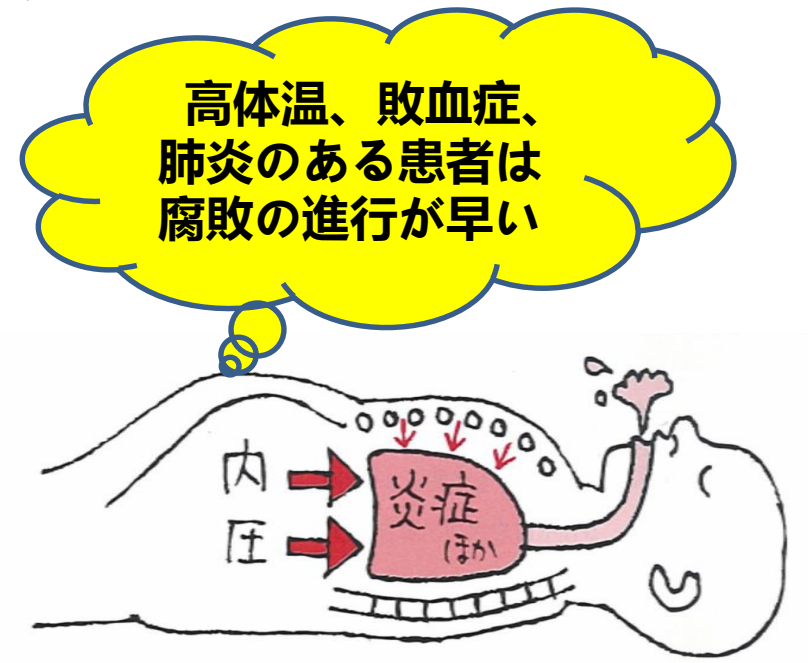
腐敗現象

- なぜ起こるのか
腹腔内、胸腔内の常在細菌叢の崩壊に伴い嫌気性菌が増殖する → 腐敗

- どのような症状が出るか
体液・排泄物の漏出

感染予防が大切！！

- どう対応するか
保冷剤をあてて冷却し、腐敗を最小限に抑える



伊藤茂:ご遺体の変化と管理、照林社、2009より引用

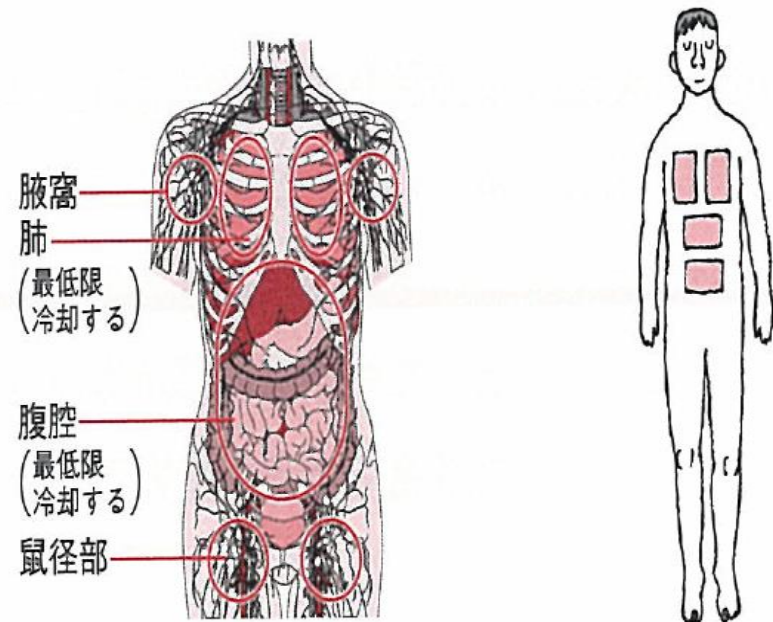
冷却を行ううえでの注意点

- 早期からの冷却は有効である
- 必ず冷却する部位は胸腔と腹腔、その他の冷却ポイントは両頸部、両腋窩部、両鼠径部である
- 冷却は、葬儀社が遺体の防腐対策を行うまで継続する

・ 死後4時間以内、遅くとも6時間以内に冷却する

人体図による冷却位置

保冷剤の置き方の例



伊藤茂:ご遺体の変化と管理、照林社、2009より引用

生体と遺体の違い（化粧品の違い）

化粧の目的

- ・ 生体用：美しく見せる、おしゃれ、表現
- ・ 遺体用：死体感をなくし、失われた
「その人らしさ」を再現するため

化粧品の種類

- ・ 乾燥防止効果の高いもの
- ・ 皮脂膜を覆うだけの保湿カバー力があるもの
- ・ 市販のものでは、乳幼児に使用する製品が遺体の肌の保護に関して有効

油分の比重が違う！
保湿が重要！